

R・B・K EYE

VOL. 192

2017. AUGUST

編集責任 飯嶋 薫

1. ITと「人知」でファッション産業活性化に挑む

アパレル産業の現状は、総体的には低迷状態を脱していません。しかし、そうした中から独自の視点でアパレルファッション産業の未来を切り拓こうと努めている挑戦者がいます。伊藤忠商事繊維経営企画部が発行している「繊維月報」が8月号で取り上げている6社・6人もそうです。斬新な発想で革新に取り組む挑戦者達には、是非とも、ビジネス的にも成功し、産業の低迷を打破する先行者になってもらいたいものです。

同紙が紹介している挑戦者のうち、2014年にコンサルタントだった河野秀和氏が創業したシタテル(株)(熊本市)は、国内初の縫製事業のクラウドソーシングサービスで、ITを駆使してアパレルの新たなサプライチェーンを構築するものです。提携先の全国の300カ所の縫製工場とアパレルの製造を求めている事業者をマッチングさせることで、アパレルサプライチェーンを革新する同社。ショップ限定アイテムの小ロット生産を望む小売業者やパリコレ参加のコレクションブランド、飲食業などアパレル業界以外の事業者からの利用が増えているとのことです。以前から閑散期に空いてしまう縫製スペースをどう埋めるか、頭をなやませている縫製業者からは、シーズンに左右されないアパレル事業者からのオーダーは大歓迎されているそうですが、全くその通りでしょう。

同社のほか、スマホやタブレット端末から利用できる展示会のオンラインサービスで、約280ブランドと8000人のバイヤーが利用している「ターミナルオーダー」のターミナル(株)、桐生市が拠点で実家が縫製業の(株)フクルの「カスタムオーダーブランド事業」、ファッションに特化したコワーキングスペースを通して若い作り手をサポートしている「coromoz a」の(株)衣屋、東京と繊維産地を行き来してデザイナーと産地をつなぐ「ファッションキュレーター」の(株)系編、「ファッション×若者」をテーマに多彩なコミュニケーションをデザインする(株)READY TO FASHIONも先行きが楽しみなベンチャー企業です。

歴史が長い分、サプライチェーンや取引慣行に非効率や旧弊が残る繊維ファッション産業界。消費低迷を嘆かず、ITを駆使して改革に果敢に挑む挑戦者達の努力が報われ、ひいてはファッション産業の競争力強化と活性化が実現することを期待したいと思います。

2. 行列の出来るPOPUP ショップ

この夏、青山界隈で何だ！これはの、行列ができたPOPUP ショップが2店ほどありました。SNSで呼ぶPOPUP ショップの流れがトレンドとなる時代です。

「Lipton Fruits in Tea」

紅茶でお馴染み、リプトンの夏季限定のティースタンドショップが表参道と大阪で開催。好みの果物などを選んで作ってくれるカスタマイズ式のアイスティーは店舗限定のタンブラーに入れてくれることから、連日、沢山の客で賑わっています。インスタグラムのプロモーションも積極的。SNSと連動させたPOPUP ショップの好例です。行列のお客様に、何処から来ましたか、と声を掛けましたところ、私は宇都宮、私は小田原との事でした。わざわざこの為に遠路、一日かけてLipton 青山へ、でした。

「ハーゲンダッツ青山」

地下鉄銀座宣外苑前駅のSIGNのカフェが期間限定のハーゲンダッツPOPUP ショップになり、外苑前駅から神宮球場へ長い行列が出来ました。8月10日は同ブランドのジャパン創業の日だそうで、これを記念して「ハーゲンシェイプ」の無料配布をSNS連動で告知したそうです。テーマは「ハーゲンダッツ サマーリゾート」最大の売りはハーゲンダッツをマイナス30℃で凍らせ、それをかき氷にする新感覚の商品を、毎日、先着100名に無料配布でした。これが大評判を呼び、長い行列ができた次第です。知人が10時オープンの2時間前に並んでぎりぎり間に合ったそうです。驚いたのは無料配布の恩恵に外れた人たちが更に長い列を作り、その新感覚のかき氷？ハーゲンダッツアイスを有料で食べる光景でした。たかがアイス、されどアイスです。話題になりそうだったり、インスタグラム映えしそうな情報がSNSを通じ共感するとブームになるこれも好例です。POPUP ショップの時代ですが、問題はいつまで続くのかです。

3. 2つのストリート系ブランドが日本に上陸

「スニーカーブーム」に続き、「ルイ・ヴィトン」と「シュプリーム」のコラボ商品を販売するポップアップストアが行列となるなど、ストリート系のトレンドが台頭しています。そんな中、今秋、2つの象徴的なブランド&セレクトストアが米国ニューヨークから東京に上陸します。

一つは、「シュプリーム」の元クリエイティブ・ディレクターのブレンドン・バベンジンが手掛ける「ノア」です。スケートボードやサーフィン、音楽などのストリートカルチャーに精通しているブレンドンが、トラッドマインドを宿したカジュアルブランドとして提供するもの。Tシャツやスウェット、キャップなどに加え、キレイめなシャツやジャケット、レザージャケットなども扱っています。

ニューヨークのマルベリー通りとケンマレ通りの角地の基幹店に続き、昨年、ロンドンのドーバーストリートマーケットにショップ・イン・ショップを出店。東京は世界3号店になります。

日本で展開するのは、ベイクルーズで、9月2日に「ノア クラブハウス」の名称で、裏原宿（東京都渋谷区神宮前4-26-29）に日本1号店をオープンします。近くには行列ができることで知られている「シュプリーム」の原宿店もあり、コアなファンなどを中心に、多くのストリート好きが「ノア」を訪れることになりそうです。

もう一つは、“ネクスト「シュプリーム」”と呼び声の高い「キース」です。もともとスニーカーのコレクター兼デザイナーのロニー・ファイグが始めたスニーカーのセレクトショップからスタートし、オリジナルのウエアや本、雑貨などライフスタイルストアとして広がりを見せています。基幹店はブリーカーストリートとブロードウェイの間にあり、世界一のスニーカーストアとして、行列の絶えない店になっており、ECでも即完売するアイテムが続出している超人気ブランド&ストアです。

ただし、今回海外初の店舗として8月25日にオープンするのは、ロニーが手掛けるシリアルバー「キース・トリーツ」です。これまでニューヨークとマイアミにある「キース」のストアの一部でショップ・イン・ショップとして手掛けてきましたが、世界4号店となる東京の「キース・トリーツ」は単独店舗での出店になります。場所は「ナノ・ユニバース」渋谷店の1階の一角で、テイクアウトのサンドイッチストアやアイスクリームストアのような趣です。シリアルやアイスクリーム、シェイクなどとともに、Tシャツやスウェットなどのアパレルとアクセサリを月替わりで販売していく予定とのことですが、こちらも行列は必至です。

当面、ストリートブームは継続しそうですね。

<レストランレポート>

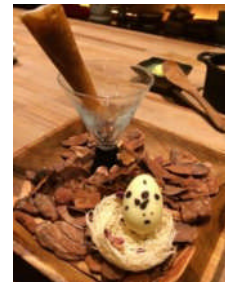
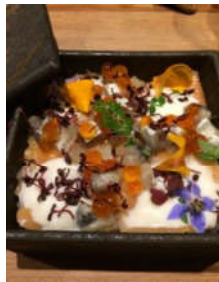
4. 女性シェフが作る新北欧料理「aeg」

白金台、プラチナ通りにひっそりと佇む隠れ家的レストラン「aeg」。
木のドアを開けると女性シェフの辻村直子さんが、笑顔で迎えてくれます。北欧家具がセンス良く並べられた空間、大きな木のカウンター、まるで森の中にいる様な気分。デンマーク人のご主人を持ち、デンマークの3つ星レストラン「ゼラニウム」での修行を生かした、辻村さんのお料理はノルディックキュイジーヌに和のしつらえや発酵の深みを掛け合わせたもの。ここ数年日本でも北欧料理のレストランは話題になっていますが、「aeg」はひと味違います。北欧には花や樹木の香りがあるからと、一皿一皿運ばれてくる料理にはお花や草や、森をイメージさせるオブジェが品良く飾られ、食べるのが惜しい様な美しさです。和テイストの器と北欧テイストの器との素敵なマッチングに自然の香りを感じます。どれほどの工程がかかるのだろうと思わせる、丁寧な仕事。お客様の食べる様子を見ながらベストのタイミングで、次のお皿をサーブする。細かい所まで行き届いた気遣いはとても心地がよいものです。お料理1皿1皿に辻村シェフの感性とオリジナリティーを感じます。全てが美味しく、口の中で広がる鮮烈な香りが印象的。とても控えめだけど強い意志を持って、材料や料理の説明をして下さるシェフの人柄がディナーをより素晴らしいものにしてくれました。ワインもオーガニックのものも種類を揃えていて、お料理にあったものを勧めて下さいます。食べ終わった後に残る静かで心地よい余韻。
誰か大切な人と過ごすのにおすすめのレストランです。

お値段は1人20000円～。要予約です。

東京都港区白金台5-3-2 ジェンティール白金台B1F TEL:03-6277-1399

営業時間：17:00~24:00 不定休



5. 「HIGASHIYA GINZA」のアフタヌーンティー

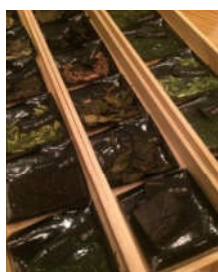
最近話題のアフタヌーンティー、あちらこちらのホテルで開催されていますが、こちら「HIGASHIYA GINZA」のアフタヌーンティーは一風変わった茶間食と呼ばれる和菓子を中心としたもの。一の盆はいなり寿司、二の盆は間食（塩気のあるおつまみ）、三の盆は和菓子いろいろと、見た目にも楽しく、重たさもなく、午後の優雅な時間のお供としてお勧めです。お茶は約30種類の中から2種類選べて、そのプレゼンテーションや器はため息が出る程の美しさ、するどい審美眼を持つオーナーの緒方さんの感性にすっかり魅了されてしまいます。銀座らしい、品のある端正な内装、ゆっくりした静かな口調で一つひとつ丁寧にお菓子やお茶の説明をしてくれるスタッフ。外の喧噪が嘘の様にゆったりとした時間を過ごせます。お時間に余裕がある時、おしゃべりを楽しめる友人とお出かけすることをお勧め致します。お値段は¥3780。

東京都中央区銀座1-7-7 POLAビル2F

TEL:03-5590-2824

アフタヌーンティー：15:00~18:00

定休日：月曜日



今月のPATROL

世界のトップレベルを誇る日本の接客やサービス。そのリアルな現場を年間1300店以上見ている調査員がパトロール！時代が変化しても引継いでいきたい「おもてなし」を、調査結果と共に発信していきます。

頼れるスタッフの対応と 試せる無料サービスの充実が嬉しい



SHOP DATA>>>メーデーベア

住所：東京都調布市布田 3-1-1

電話：042-483-5115

おもてなし評価

総合

95点



挨拶



笑顔



パーソナルな対応



再来店したいか



「介護」について、色々相談出来る頼もしいスタッフに出会えて安心です。

by 調査員 A.M

「そろそろ介護用品が必要かもしれない」。そう思っても、プライドが高く頑固な父にはなかなか受け入れてもらえず、ちょっと試してみたくても、ドラッグストアにある商品はどれも大量に入ったパッケージばかり。そんな時にフラッと立ち寄ってみたお店。百貨店の介護用品売り場よりもずっと話しやすく、色々相談にのってもらいました。

Point!

R・B・K 調査隊長よりヒトコト！

親の介護に四苦八苦している友人が多い。情報収集しても最終的には個人に向き合い相談できることが最優先。年齢にかかわらず、経験者等アドバイスできる人材が何より重要である。



期待した百貨店は

丁寧だが知識不足のスタッフにがっかり・・・

介護用品探しの最初は、高齢者に人気の新宿京王百貨店に行ってみました。若い女性スタッフが丁寧に受け答えしてはくれましたが、知識も経験も少ないせいか、説明やお勧めがあまりなく、別のスタッフに聞くなどもしてくれましたが、そのスタッフも詳しくないようで、要望に合ったお勧めがないまま、最終的にはドラッグストアを案内されてしまいました。もっと色々相談したいのに、とても残念でした。



この人に出会えてよかった！

心配事を聞いてもらい、少し楽になりました

数日後、たまたま通りがかった介護用品専門店に入ってみました。店内にいたスタッフ(60代位の女性)は、柔らかな笑顔と優しい声で「こんにちは。何かお困りですか?」と、こちらの様子を窺いながら声を掛けてくれました。病院やホテルに商品を卸したり、レンタルをしている店舗との事。こちらの心配事を色々聞き出してくれ、アドバイスも頂いた後、「介護に関係なく、ゴルフをされるご高齢の方たちにも人気なんですよ。お試しになってみませんか?」と、介護パンツらしくない素敵な紙パンツを2種類2組ずつ無料でくれました。



ベッドパットの1週間無料貸出しのサービスは、本当に助かりました！

父のベッドのスプリングがへたってきたので、何か補強できるものはないかと相談すると、特別なシリコン製の座布団サイズのベッドパットを見せてくれました。小さいけれど、結構なお値段。はたして父のベッドに合うのかどうかと考えていると、「1週間お試しになってみませんか?」と無料でサンプルを貸し出してくれました。「ソファや椅子にもご利用頂けますし、病院のベッドに持ち込まれるお客様もいらっしゃるんですよ」と、他のお客様の話も聞かせてくれました。紙パンツもベッドパットも試させて頂き、父も案外あっさり受け入れてくれ、どちらも購入させて頂く事にしました。今後何かあったら相談に行きたいと思っています。